

住民協働課の目標（平成20年度）自己評価書

住民協働課長 浅野 恵美子

- 達成度
- 5 目標を完全に達成した。
 - 4 目標を概ね達成した。
 - 3 目標を一部達成した。
 - 2 目標をほとんど達成できなかった。
 - 1 目標をまったく達成できなかった。

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 地域づくりの支援 地域の活性化や地域の課題等に取り組むための、住民団体等の自由で自発的な公益活動に対し、住民提案型の住民公益活動補助金により支援します。</p> <p>2 住民活動の推進 町民公益活動を推進するために、活動団体への情報提供、団体同士の情報交換などを行えるようパソコン、書架、団体ボックスを備えた（仮称）交流サロンを役場西庁舎1階に、土日でも会議や打ち合わせなどの利用が行えるように（仮称）ミーティングルームを中央公民館に設置します。</p> <p>3 協働意識の普及と啓発 公共や公益を担い支えるのは行政だけではなく、町民との協働のうえに成り立つという意識を持つことが基本であり、協働のまちづくりへの理解を深めるための講演会や研修を実施します。</p> <p>4 高齢者・団塊世代の就業支援 高齢者や団塊世代の社会参加と生きがい就労を目的とした「酒々井町シルバー人材センター」の運営を支援します。</p> <p>5 男女共同参画の推進 男女共同参画についての理解を深めるため、県から委嘱される地域推進員と協力して啓発事業や情報提供を行い、男女の機会均等や共同参画への意識を高めていきます。</p>	<p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p>	<p>公益活動補助金の交付を受けることで、公益活動を行う団体が、地域資源を活用して様々な分野で、地域の活性化に取り組むことができた。</p> <p>7月1日より役場西庁舎に交流サロン（愛称：「井戸端」）、中央公民館にミーティングルームを設置したことにより、公益活動団体の活動拠点として利用されている。</p> <p>担当職員の研修会等への積極的な参加や庁内職員向けの研修会を開催した。</p> <p>12月に町補助金が交付されたことにより、町唯一のシルバーと認められて、千葉県シルバー人材センター連合会へ加入する。</p> <p>地域推進員を当町から初めて推薦し委嘱された。また、北総地域における啓発・情報提供としての地域推進員セミナーに協力した。</p>

<p>6 地区集会所への補助 各地区にある集会所等に対して管理費、修繕費、建築費を補助します。</p> <p>7 チャレンジ目標</p> <p>(1) 住民公益活動補助金制度等の周知を目的に様々な会合に参加します。</p> <p>(2) 男女共同参画を推進するために推進員と協働の事業を毎年開催します。</p>	<p>5</p> <p>3</p> <p>5</p>	<p>集会所の管理に対し補助金を交付し、要望のあった修繕に対して、全件補助することができた。</p> <p>参加できる会合が少なかった。</p> <p>地域推進員の呼掛けに応じた方を対象にミニ講座を開催した。また、不定期ながら、地域推進員や一般住民と共に男女共同参画に関する会合を開催した。</p>
---	----------------------------	---